

エリヤハウス・ジャパンの歩み

- 1999年10月 初めてのエリヤハウスセミナー「変えられるための鍵」ワークショップ リチャード&ジャン・オブライエン師、ヴィッキー・フレイリー姉、テア・ロフェリー姉を迎えて 大津バプテスト教会にて
- 2000年 4月 英語での「祈りのミニストリービデオスクール」開催（大津バプテスト教会）基礎課程Ⅰ14名修了、基礎課程Ⅱ9名修了
- 2001年 1月 ジョン・サンフォード師を迎えて、「内なる人の変革」セミナー開催、滋賀県大津、横浜市本郷台、札幌（手稲）にて
- 2002年 2月 **日本語(通訳)ライブ「祈りのミニストリースクール」Week 1開催**
大津、横浜、札幌
- 9月 ライブ「祈りのミニストリースクール」Week 2 大津、横浜、札幌
- 2003年 3月 ライブ「祈りのミニストリースクール」Week 3
同志社リトリートセンターにて
- 6月 「幸せな家族関係」セミナー ロバート&キャシー・フェットバイト師
- 4月 旭福音キリスト教会(現シティビジョン・グローリーチャーチ)ビデオスクール開始
- 10月 沖縄世界宣教教会、本郷台にてビデオスクール
- 2004年 1月 札幌にてマーク・サンフォード師を迎えて「家族の回復」セミナー開催
EHJインターンシップ開始
- 3月 ライブ「祈りのミニストリースクール」Week 4
同志社リトリートセンターにて
- 10月 「希望の季節」セミナー ロバート&キャシー・フェットバイト師
- 2005年 春 ロバート&キャシー・フェットバイト師 各地にてセミナー
- 2006年 3月 **「エリヤハウス・ジャパン発足式&記念セミナー」**
ジョン・サンフォード師、ロバート・フェットバイト師、サンドラ・セルマー師を迎えて 青山学院大学ガウチャー記念礼拝堂にて
- 10月 **「第1回EHJワークショップ」** 兵庫県丹波アルパインローズビレッジにて ロブ・モリセット師、ロバート&キャシー・フェットバイト師
- 2007年 7月 EHJアドバンスコース開始
- 2008年 2月 「第2回EHJワークショップ」、本郷台キリスト教会にて開催
ロブ・モリセット師、テア・ロフェリー師
- 2009年 6月 「第3回EHJワークショップ」、札幌定山溪にて
マーク&モーリン・サンフォード師、サンドラ・セルマー師
- 2010年 9月 大津、横浜、札幌にて日本人講師によるエリヤハウス・セミナー開催
- 2011年 3月 「第4回EHJワークショップ」、神奈川県三浦海岸マホロバ・マインズにて ロバート&キャシー・フェットバイト師
- 9月 東日本大震災被災者向けの無料電話相談「ハートケア」開始
- 2012年 3月 ロバート&キャシー・フェットバイト師、NPOオペレーション・ブレッシングの協力で
東日本大震災被災者向けの「心のケア」セミナー（岩手県、宮城県仮設集会所にて）
東日本大震災支援者向け「トラウマ」セミナー開催（仙台市にて）



エブリン・エッガー先生の思い出



ある時、アメリカから電話をもらいました。「結婚するんです」「えっ、誰がですか」「わたしです」「えっ・・・」その時、電話の向こうで泣いておられた、エブリン先生のその声は、今もわたしの脳裏に残っています。やがて、大津バプテスト教会で、その結婚式の司式をさせていただくことになりましたが、長い年月、独身の宣教師として主に仕えてこられたエブリン先生が、突然、不思議な奇跡的な出会いでハープ・エッガーさんと結婚されることになり、式に参列された多くの人たちにとって微笑ましい、また感動の時となりました。この不思議な結婚の経緯については、多くの方がエリヤハウス・ビデオスクールで、そのあかしをお聞きになっておられる通りです。ひと言で言いますと、エブリン先生がエリヤハウスのスクールに出会っていなければ、このお二人の結婚はあり得なかったのではないか、ということです。

今年の春頃、エブリン先生のお元気な時、「一度、ノースキャロライナのお宅をお訪ねしたいですね」と電話でお話をしていましたが、今年9月27日の夜、突然、先生が主のみもとに召されましたことはわたしたちにとっても大きな悲しみです。

一番最初に、わたしがエブリン先生にお会いしたのは、54年ほど前の、西南学院大学文学部英文科の学生時代の頃でした。先生はこの大学で「オーラル・イングリッシュ」の授業を担当しておられ、わたしも1年間その授業を受けた学生のひとりです。

また、大学のチャペルなどで、チェロを弾いておられたこともあったように思います。先生が宣教師として日本に来られて、間もなくのことでした。

不思議なことに、その後、20数年ぶりで再びエブ

リン先生に再会しました。わたしは牧師となり、先生は教会に仕える宣教師となっておられました。出会いのキッカケは先生もその頃、聖霊のことに関心があり、わたしもそうであったことでした。やがて、大津の私たちの教会の宣教師として来てくださることになり、その後、ずっと2007年に米国に帰国されるまでの長い間、伝道に牧会に、そしてエリヤハウスの祈りのミニストリーの働きに関わってこられました。

特に、思い出すのは、先生の魂に対する救霊の情熱はすばらしいものがあったことです。いつも新しい魂に対して重荷をもち、その人たちを主に導く働きをしてこられました。新しく出会った人たちといつも親しい関係を持ち、バッグの中にはトラクトを何枚も入れていて、どこでも出会った人にそれを渡しておられました。これらの多くの方々がこの度、先生の亡くなられたことを知らされ、悲しみと共に先生の暖かい愛の心を思い出しておられると思います。

私たちの大津バプテスト教会がセル・グループをスタートした頃のことで、その最初のきっかけとして、ラルフネイバー師のセミナー・テープをわたしに個人的に紹介して下さったのがエブリン先生でした。

もう一つは、エリヤハウス祈りのミニストリー。これも先生の勧めでセミナーやスクールを始めることになりましたが、この働きが今では日本の北海道から沖縄に至るまで全国の教会に広がり、多くの人たちに影響を与えるものとなっていることも主の不思議な導きであったと思います。日本を愛し、教会を愛し、多くの未信者の人たちのことをいつも心にかけておられたエブリン先生のことを思い起こす時、主を愛し、主に従い通された、その信仰者の姿に感動と感謝とを覚えなくてはなりません。今度は私たちがエブリン先生と同じように福音のために他の人たちに仕えていく信仰者としての歩み、生き方をしていきたいと心から願うものです。



前大津バプテスト教会主任牧師
エリヤハウス推進しもべ
JCMNコーディネーター

浜崎 英一